

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.208



発行日 2017年5月31日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 仲林 清
〒162-0801
東京都新宿区山吹町358番地5
アカデミーセンター
URL <http://www.jsise.org>
E-MAIL secretariat@jsise.org

2017年度 JSiSE 全国大会(第42回)のご案内

開催日 : 2017年8月23日(水) ~ 25日(金)

開催場所 : 北九州国際会議場

<http://www.jsise.org/taikai/2017/>

是非ご参加下さい!!



2017年度 全国大会のご案内	1-3	他団体協賛・後援のお知らせ	17
2017年度 第2回研究会 開催案内	4-5	会費納入のお願い	18-19
2017年度 第3回研究会 講演募集	6-7	事務局より	20-22
特集号論文募集	8-10	会員専用ページの案内,	
2017年度 第1回研究会 開催報告	11-12	学会誌・研究報告バックナンバーのご案内,	
支部活動報告, 案内	13-14	新入会員のご紹介,	
研究会報告年間購読の申し込みについて	15	入会のご案内	
学会 Twitter,			

Facebook ページのご案内



第42回 JSiSE 全国大会のご案内

テーマ： 未来を拓く情報学と教育の情報化

<http://www.jsise.org/taikai/2017/>

- 開催日時： 2017年8月23日(水)～8月25日(金)
- 会場： 北九州国際会議場(〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30)
- 主催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 大会日程(予定)

8月23日(水)	
午前	プレカンファレンス
午後	開催校挨拶, 基調講演, 企業セッション, 一般セッション(口頭発表およびインタラクティブ発表), 企画セッション
8月24日(木)	
午前	一般セッション(口頭発表のみ), 企画セッション
昼	企業ランチョンセミナー
午後	特別講演, 各種表彰, 一般セッション(口頭発表およびインタラクティブ発表), 企画セッション, 学生研究特別セッション(インタラクティブ発表)
夜	懇親会
8月25日(金)	
午前	一般セッション(口頭発表のみ), 企画セッション
午後	クロージングセッション, 大会奨励賞表彰, 現地主催公開シンポジウム

(*) 大会日程は変更の可能性があります。

■ 投稿・参加申込のスケジュール

投稿締め切りの後に、参加申し込みが開始されます。発表者には、参加申し込み開始時にメールでご連絡いたします。

- 2017年5月30日(火) 投稿締切
- 2017年6月1日(木) 参加申込開始
- 2017年6月29日(木) [発表者] 参加申込締切
- 2017年7月25日(火) [発表者以外] 参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2017年8月2日(水) [発表者以外] 参加申込締切(クレジットカード)

■ 交通アクセスについて

お車でのご来場も可能です。北九州都市高速道路小倉駅北ランプより車で1分です。ただし駐車場は有料です。周辺の駐車場および上限料金は <http://convention-a.jp/access/parking/> をご確認ください。

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,560円 学生会員：3,240円 非会員（学生以外）：10,800円 非会員（学生）：5,400円 論文掲載料：1,000円（論文一編につき）	一般会員：8,500円 学生会員：4,000円 非会員（学生以外）：12,000円 非会員（学生）：6,500円
全国大会当日、またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は、会員料金でお申し込みいただけます。	
[懇親会費] 一般：5,000円 学生：3,000円	[懇親会費] 一般：7,000円 学生：3,000円

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンス、および現地主催公開シンポジウムの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会参加登録、および参加費の支払いは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更の可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ プレカンファレンス

6月初旬にウェブサイトに掲載予定

○ 企画セッション

1. 小型ハードウェアと電子工作による教育システム・ツールの開発
2. 医療・看護・福祉領域における ICT 等活用教育
3. ICT 活用した PBL(problem / project based learning)の支援
4. 新技術に基づくメディア／デバイスを活用した学習支援環境
5. ラーニング・アナリティクス (LA) の先進事例と課題
6. 組織的な e ラーニング実践のための学習支援環境の構築と運用
7. 身体知と認知に関わる連続性のあるスキル学習支援
8. プログラミング的思考とプログラミング教育

○ 懇親会

懇親会は大会2日目の8月24日（木）にリーガロイヤルホテル小倉（<https://www.rihga.co.jp/kokura>）で開催します。

■ インターネット接続について

学会期間中に、北九州国際会議場の無線 LAN サービスを提供予定です。ただし全館ではなく、交流ラウンジ・イベントホール・サブホワイエの 3 か所で利用可能です。より詳しくは、館内図 1F・2F (<http://convention-a.jp/kokusai-kaigi/>) をご参照ください。サービスの利用方法に関する詳細は今後、ニューズレターまたは Web サイトにて提供する予定です。

■ 講演論文集について

第 37 回大会より講演論文集の印刷を廃止し、CD-ROM、および Web による配布としております。Web 版の講演論文集は、8 月 17 日(木)に大会参加者のみに公開され、2018 年 3 月 1 日(木)に一般公開されます。

■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします。お申し込み先など、詳細は大会 Web サイトをご覧ください。

■ 協賛金のお願い

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は大会 Web サイトをご覧ください。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会
E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp

2017年度 第2回研究会 開催案内

担当：不破 泰，小松川 浩，布施 泉，野崎 浩成，金子 大輔（研究会委員会）

研究会運営協力：長谷川 理，時田 真美乃，山川 広人

■テーマ：ICTを活用した学習支援と教育の質保証／一般

※共催：信州大学総合情報センター

■開催日時：2017年7月8日（土）

■会場（予定）：信州大学 松本キャンパス中央図書館（〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1）

<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map05.html>

会場「中央図書館」はキャンパスマップの6番の建物です。

バスでお越しの場合、松本駅から「信大横田循環線」に乗りいただき、バス停「大学西門」で降りていただくと便利です。

（時刻表）

<http://www.alpico.co.jp/access/matsumoto/pdf/shindaiyokota20160401.pdf>

■発表申込締切：2017年5月24日(水) (※ 変更になりました)

■原稿提出締切：2017年6月8日（木）

■趣旨：

本年度第2回研究会は、「ICTを活用した学習支援と教育の質保証／一般」のテーマで実施いたします。

近年、小中学校・高校では児童・生徒の学力格差が問題となっており、大学では進学率の上昇に伴い、多様な学生を受け入れるようになりました。一方で、高大接続システム改革の流れの中で、各教育課程での厳格な質保証も求められる時代になっています。こうした状況に対して、効果的・効率的にICTを活用することは、ますます重要となっていることから、本研究会のテーマは、「ICTを活用した学習支援と教育の質保証／一般」とします。ICTを活用した学習支援、教材システム、学習支援の環境や技術、学習コンテンツの開発・評価など、e-Learningや学習支援に関する研究ならびに、そのようなシステムやコンテンツの活用事例を通じた教育的な効果や有効性に関する研究を広く募集します。これらの研究を通じて、教育の質保証を図り、学力格差の是正や学習の質的の向上を目指します。また、システム開発やコンテンツ作成をはじめ、教育実践や教材評価、カリキュラムの設計、学習科学、言語教育など、教育に関連した幅広い分野からの発表も歓迎いたします。職場の同僚や共同研究をしているグループなど、お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。

なお、第2回研究会は信州大学総合情報センターとの共催です。

■オンライン講演申込・原稿投稿方法：

<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑応答 8 分）を予定しております。

■懇親会：

研究会終了後，懇親会を開催する予定です。会費は 4000～5000 円の予定です。

■お問い合わせ先：

小松川浩（千歳科学技術大学，第 2 回研究会担当委員）

E-mail：hiroshi@photon.chitose.ac.jp（「@」の部分は，半角の「@」に変えて下さい）

2017 年度 第 3 回研究会 講演募集

担当：小西達裕(静岡大学), 林敏浩(香川大学), 安間文彦(サイバー大学)

■テーマ：組織的な e ラーニング実践のための学習支援環境の構築と運用／一般

■開催日時： 2017 年 9 月 22 日(金)

■会場：サイバー大学 福岡キャンパス

(福岡県福岡市東区香椎照葉三丁目 2 番 1 号 シーマークビル 3 階)

<http://www.cyber-u.ac.jp/about/access.html>

■主旨：

本年度第 3 回研究会は「組織的な e ラーニング実践のための学習支援環境の構築と運用／一般」のテーマで開催いたします。

本テーマは全国大会企画セッション「組織的な e ラーニング実践のための学習支援環境の構築と運用」とも連動した企画となっていますが、本研究会のみの発表もまったく問題ございません。

近年、高等教育における e ラーニングは一般的となり、多くの教育機関で組織的に e ラーニング実践が展開されています。対面授業と組み合わせたブレンディッド型の e ラーニングのみならず、通信教育課程をもつ大学のようにフルオンラインでの講義を前提とした e ラーニング実践も増加してきました。それと共に、e ラーニング基盤を用いた大学間での単位互換の取り組み、コンテンツの共有、教育の共同実施なども展開されつつあります。本研究会では、こうした組織的な e ラーニング実践におけるさまざまな知見や運用における課題などを議論します。具体的には、LMS や e ポートフォリオなどのプラットフォーム開発や運用、コンテンツ開発環境の構築、オンライン上での演習・実習科目の実践、モバイル学習環境、クラウド環境の活用、履修継続のための学習支援、教育の質保証のための授業改善、単位互換制度やコンテンツ共有などの大学間連携の取り組みなど、組織の規模を問わず、幅広い観点から e ラーニングの実践に関する発表を募集します。

職場の同僚や共同研究をしているグループなど、お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。多くの皆さまの発表をお待ちしております。

■発表申込み締切 2017 年 8 月 7 日 (月)

■発表原稿提出締切 2017 年 8 月 23 日 (水)

■発表申込および原稿提出は、下記 URL の「発表申込・原稿投稿」よりログインをお願いします。

注) 研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。以下のページをご確認ください。

研究会執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究会報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究会報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法：<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■発表時間

発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 8 分）を予定しております。

■お問い合わせ先

安間文彦(サイバー大学, 第 3 回研究会担当委員)

E-mail: fumihiko_anma@cyber-u.ac.jp

(@の部分は半角の@に変えてください)

特集号論文募集

—安心・安全な社会に貢献する教育システム— —プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム—

本特集号では、近年社会における需要が急速に高まっている2つのテーマ、「安心・安全な社会に貢献する教育システム」と、「プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム」に関する論文を募集いたします。当該分野における新たな教育支援技術、ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発の論文を幅広く募ります。一般論文・実践論文のみならず、ショートノート・実践速報としてのご投稿も歓迎いたしますので、奮ってご投稿ください。

1. 対象分野

A) 安心・安全な社会に貢献する教育システム

教育・学習は、安心・安全な社会を基盤としてより良く発展していきます。しかし、安心・安全な社会を維持するために我々が取り組むべき課題は多様かつ複雑化しています。このような状況において、大規模自然災害やテロリズムのみならず、事故や感染症など日常生活に潜むさまざまなリスクについて教育・学習することは重要であり、安心・安全な教育・学習環境を構築することも急務です。これらのことにICTが大きな役割を果たすことは言うまでもなく、安心・安全な社会に貢献する教育システムの充実が期待されています。そこで本特集号では、防災・減災、医療・看護・福祉、セキュリティ、情報モラル、情報リテラシ、情報・教育インフラなどの幅広いトピックを対象に、安心・安全な社会に貢献する教育システムに関する論文を広く募集いたします。

キーワード：防災・減災、医療・看護・福祉、セキュリティ、情報モラル、情報リテラシ、情報・教育インフラ、安全教育、ビッグデータ、ゲーミング・シミュレーション、可視化、GIS (地理情報システム)、IoT, SNS, VR/AR, モバイル/ユビキタスシステム, センシングシステム, クラウドコンピューティング, 携帯情報端末, マルチメディア, リスクマネジメント, 認知・心理, 教師教育, 安心・安全の評価など (これらに限定されるわけではありません)

B) プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム

従前よりICT技術者を目指す学生や、関連業種に就いた際の研修などにおいて、プログラミングおよび情報技術(ネットワーク、データベースなど)の教育が重視されてきました。一方、ICT技術は社会において遍在的な存在となっており専門的な技術者育成の場以外においても、これらの教育が広く実施されつつあります。特に近年においては、情報教育の一環として小・中学生、高校生に対してプログラミング教育の導入が順次進められているとともに、私塾においてプログラミング学習の場が設けられるようになってきました。また、中等教育においては、プログラミングのみならず、情報科学・技術の基礎について学習することも求められています。以上の背景をふまえて、本特集号ではこのような状況の中、様々な学習者に対して必要とされるプログラミング・情報技術教育に関する実践や支援システムについての論文を広く募集いたします。

キーワード：情報通信技術，情報科学，初学者向け教育，技術者育成，初等教育，中等教育，高等教育，プログラミング言語，ビジュアルプログラミング環境，アルゴリズム，モデリング，アンプラグド・コンピュータサイエンス，論理的・創造的思考，プログラミング的思考，**computational thinking**，ネットワーク，データベース，ハードウェア連携，計測・制御，IoT，ICT 環境整備，教員研修 など（これらに限定されるわけではありません）

2. 論文種別

通常と同様，すべての種別（一般論文，実践論文，ショートノート，実践速報）の論文を募集します。なお，査読結果により，異なる種別での採録となる場合もあります。また，編集委員会の判断で，一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- A), B)のうちどちらのテーマに関する論文であるかを，投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に明記してください。
- 特集論文研究会（2017年3月18日（土）開催予定）で発表を行った方は，投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に，特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください。
- 英文で投稿される場合は，本会英文誌へ投稿してください。英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い，和文誌と同様のスケジュールで査読を行います。

英文誌ホームページ：http://www.jsise.org/journal/journal_en.html

4. スケジュール

- 特集論文研究会：2017年3月18日（土）（開催済）
会場：北九州市立大学 北方キャンパス（北九州市小倉南区北方4丁目2番1号）
- 論文投稿締切：2017年6月5日（月）
- 掲載予定巻号：2018年4月1日発行予定の学会誌（Vol.35，No.2）
（採録通知送付予定：2017年11月初旬頃）

5. 特集号編集委員会

委員長：小西達裕（静岡大学）

副委員長：瀬田和久（大阪府立大学），西野和典（九州工業大学）

幹事：田中孝治（北陸先端科学技術大学院大学），布施泉（北海道大学），笠井俊信（岡山大学），光原弘幸（徳島大学），國宗永佳（信州大学）

委員：学会誌編集委員，特集号編集委員

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：

特集号編集委員会副委員長 瀬田和久（大阪府立大学）

E-mail: seta@mi.s.osakafu-u.ac.jp

- Web 投稿に関する問い合わせ：

教育システム情報学会編集事務局

電話：03-5389-6492, E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献社 長澤

2017 年度 第 1 回研究会 開催報告

■テーマ：学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス／医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般

■開催日：2017 年 5 月 13 日（土）

■開催場：国立情報学研究所

■担当：松居辰則，真嶋由貴恵，加藤泰久，北村士朗，森本容介，仲林清

■会場担当：森本容介（放送大学）

■発表件数：16 件（原稿なし発表 2 件を含む）

■参加者数：67 名（JSiSE 研究会のみ） ※JASLA 参加者：40 名，CLE 参加者：34 名

■概要：

2017 年 5 月 13 日（土）に，東京・竹橋の国立情報学研究所を会場として 2017 年度の第 1 回研究会を開催しました。今回は，教育システム情報学会（JSiSE），学習分析学会（JASLA），情報処理学会教育学習支援情報システム（CLE）研究会との 3 学会による共催でした。参加者は JSiSE へ 67 名，JASLA へ 40 名，CLE へ 34 名，合計 141 名（重複を含む）の参加者があり，2 フロア 3 会場は終始盛会で，活発な議論や意見交換が行われていました。

JSiSE 研究会の今回のテーマは「学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス／医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般」で合計 16 件（原稿なし発表 2 件を含む）の発表がありました。研究テーマは以下の通りです。

- ・プログラミング演習における補助者の机間巡視と個別指導のためのタブレット PC 上の支援ツール
- ・小コンテスト形式の初級 C 演習での実践におけるアンケートの分析
- ・データベース正規化の分析課題に関する学習手法
- ・システム要件定義における要求分析能力向上のための学習手法
- ・オブジェクト指向プログラミングの利便性に着目した学習手法
- ・プログラムのトレーシング課題の時系列データを用いた分析方法の提案と評価
- ・ネットワーク外部性を主題とするビデオとオンラインレポートを活用した授業の設計と試行評価
- ・即応型擬人化エージェントの外見と動作がユーザ印象に与える影響
- ・社会人学生の PBL での活動と意識に関する調査
- ・企業研修におけるブレンディッドラーニングの導入とその効果の分析について
- ・グループ学習に関する数理的分析方法の一考察
- ・e-learning による院内研修における評価の妥当性の調査
- ・バーチャル体験による子育て学習・乳児前期の e-learning 教育システムの開発と学習評価
- ・ペルソナ・シナリオ法を用いた学生による事例作成学習ツールの提案
- ・読文過程の行動特徴量による習熟度の予測
- ・3 軸加速度センサを用いた板書行動分析システムの開発
- ・LTI 規格に対応する教材配信プロトコル変換方式の検討

また、今回は3学会の合同企画として「Learning Analytics への期待と課題」をテーマにパネル討論会を行いました。パネリストとして仲林清氏(千葉工業大学, JSiSE 会長), 田村恭久氏(上智大学, JASLA 理事長), 梶田将司氏(京都大学, CLE 主査), 指定討論者として大崎理乃氏(産業技術大学院大学), 司会は松居辰則氏(早稲田大学)で進行しました。会場は立見席が出るほどの盛況でこのテーマへの関心の高さをうかがうことができました。討論会では3学会の各代表からそれぞれの立場から「LA への期待」について話題提供をいただき、指定討論者の大崎氏から「実践の立場からの LA への期待と課題」について問題提起していただき、会場も交えての活発な議論が行われました。その結果、LA を実効性のあるものとして進展させるための多くの課題が整理され、これらを解決するための研究や実践を高めることがこの分野の着実な進展につながることであり、3学会のミッションであるとの結論で会を終了しました。あっという間の75分でした。

さらに、研究会終了後には3学会合同での懇親会を開催し27名の参加者があり、ここでも積極的に意見交換、議論が交わされました。

最後に、第1回研究会でご発表、ご参加いただきました皆様、座長をお引き受け頂いた皆様、会場の準備・運営を行って頂きました国立情報学研究所、上智大学田村研究室の皆様がこの場をお借りしてお礼申し上げます。



パネル討論会



研究会セッション

文責(松居辰則(第1回研究会担当))

東海支部より活動報告

[講演会]

■日時：2017年5月13日(土) 15:00～17:30

■会場：名城大学天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ2階 K261 多目的室

■共催：日本教育工学会「SIG11」

<講演 1>

■講師：安本太一先生（愛知教育大）

演題：「小学校プログラミング必修への課題と提案」

小学校でのプログラミング教育のために教科と関連付けてプログラミング教育を行う手法の提案がされた。教科の中で体験を通してプログラミング的な思考力を身に付けながら、教科への理解・関心も深めることへの検討がされた。



<講演 2>

■講師：佐々木弘記先生（中国学園大）

演題：「プログラミング教育と教員養成」

教員養成の中でのプログラミング教育について提起し、様々な教材を活用して学生の興味や関心を高め、プログラミング的思考力を育成する手法について検討がされた。



【北信越支部共催：電子情報通信学会信越支部大会共催のご案内】

北信越支部は、電子情報通信学会信越支部大会を共催し、大会中に JSiSE 北信越支部セッションを設けます。

■期日：2017年 10月 7日（土）

■場所：信州大学工学部（長野県長野市若里4-1 7-1）

詳細は、電子情報通信学会信越支部のサイト（<https://www.ieice.org/shinetsu/>）に掲載されます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究報告は、現在 31 巻を数え、これまで教育システム情報学に関して毎年 140 件程度の研究成果(2014 年度 139 件、2015 年度 138 件の発表論文)を掲載し、大変多くの皆様にご購読いただけて参りました。2016 年度からは印刷媒体での研究報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- ・年間購読:4,000 円(定例研究会年 6 回、特集研究会 1 回、計 7 回分を含む)
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申し込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====
※研究報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば) :
お名前 :
所属 :
連絡先 e メールアドレス :
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



Twitter アカウント開設しました

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局分室 (secretariat@jsise.org) へお願いします。また、Facebook アカウントとの連携も行っており、Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので、ぜひご活用 (フォロー) ください。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2017年5月29日現在、フォロワー数 159 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・論文・発表募集
- ・本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2017年5月29日現在、いいね 295 件

The screenshot displays the Facebook profile page for the Japanese Society for Information and Systems in Education (JSiSE). At the top, there are fields for email/phone and password, with a 'ログイン' (Login) button. Below this, a message states that the user is logged in as '教育システム情報学会' and encourages logging in to interact with other members. The profile picture is the JSiSE logo, and the cover photo features a green abstract design with the text '教育システム情報学会 団体' and 'Japanese Society for Information and Systems in Education'. The navigation tabs include 'タイムライン', '基本データ', '写真', 'いいね!', and '動画'. On the left, the 'いいね! 175件' (Likes 175) section is visible, along with the address: '東京都新宿区 山吹町358-5 アカデミーセンター'. The main feed shows a post from 15 hours ago with the text: '2016年度 全国大会 企画セッション テーマ募集のご案内 教育システム情報学会 全国大会委員会 委員長 小松川 浩... もっと見る'. Below the post, the names of several users who liked it are listed: 藤岡 直さん, Masaru Okamotoさん, 豊谷 隆弘さん, etc.



他団体 協賛・後援のお知らせ

協賛 「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2017」

日時：2017年9月4日（月）～7日（木）

会場：大阪工業大学 梅田キャンパス

協賛 「第19回日本感性工学会大会」

日時：2017年9月11日（月）～13日（水）

会場：筑波大学 東京キャンパス

協賛 「日本情報科教育学会第10回全国大会」

日時：2017年7月1日（土）～2日（日）

会場：大阪芸術大学

協賛 「eラーニングアワード2017フォーラム」協賛名義使用依頼

日時：2017年10月26日（水）～28日（金）

会場：ソラシティ カンファレンスセンター

後援 「第28回全国高等専門学校プログラミングコンテスト」

日時：2017年10月8日（日）～9日（月）

会場：周南市文化会館



会費納入のお願い

2017 年度年会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願い致します。

- 「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託
をしております、株式会社国際文献社のものになります。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキユウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱東京 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※4月より所属が変更となった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

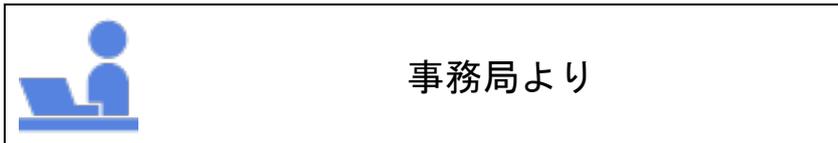
【2016年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは、すべての会費が合算された金額が請求されます。先に2016年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局 (secretariat@jsise.org) までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

学会誌・研究会報告のバックナンバーのお求めは

(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階

TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局分室までご連絡ください。

この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円 / 年 6 回発行 <送料込>

新入会員のご紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。 2017年3月24日～2017年5月23日

氏名	会員種別
室川 優希	学生会員
石井 俊也	学生会員
岡部 純子	正会員
竹川 夏実	学生会員
加藤 涼	学生会員
福島 孝博	正会員
三浦 元喜	正会員
宮内 健	正会員
岩田 建	正会員
片山 陽一	正会員
中山 かつよ	正会員
酒井 瞳	学生会員
田村 遼	正会員
亀井 省吾	正会員
小山 義徳	正会員
工藤 喜美枝	正会員
田名部 元成	正会員
溝口 佳宏	正会員
内田 瑛	正会員
藤井 厚紀	正会員
坂田 顕庸	学生会員
田村 孝洋	正会員
伊藤 大貴	学生会員
高瀬 良重	正会員
大庭 小百合	学生会員
瀬戸崎 典夫	正会員
中前 雅美	学生会員
有吉 優菜	学生会員
新谷 裕幸	正会員

氏名	会員種別
吉田 祥	学生会員
菅井 道子	学生会員
卯木 輝彦	正会員
竹上 瑞穂	学生会員
坂本 洵一郎	学生会員
平野 竜	学生会員
水谷 泰治	正会員
島倉 宏典	正会員
稲留 広貴	学生会員
鳥野 貴也	学生会員
木川 明彦	正会員
森 菜穂子	学生会員
室谷 大貴	学生会員
二木 恵	正会員
新井 健太	学生会員
町島 希美絵	学生会員
毛利 考佑	正会員
小西 啓佑	正会員
林 一雅	正会員
志水 規祥	学生会員
阿部 誠大	学生会員
西村 悟史	正会員
津守 庸平	学生会員
本多 俊雄	学生会員
中川 琢也	学生会員
松原 裕之	正会員
横山 誠	正会員
北川 悠一	学生会員
鈴木 聡	正会員

入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などをメールにてご案内いたします。教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

URL: <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。